

広島市感染症週報

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター

コメント

1 RSウイルス感染症

定点当たり2.43人の報告があり、前週の約2.1倍と大きく増加しました。生後6カ月までの乳児が初感染した場合は重症化しやすいため、注意が必要です。おもちゃや手すりなど手の触れる部分の消毒、手洗いや咳エチケットの励行など、感染予防対策を心がけましょう。

2 インフルエンザ

定点当たり1.32人の報告があり、減少が続いています。引き続き、手洗い、咳エチケット、適度な湿度の保持、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。

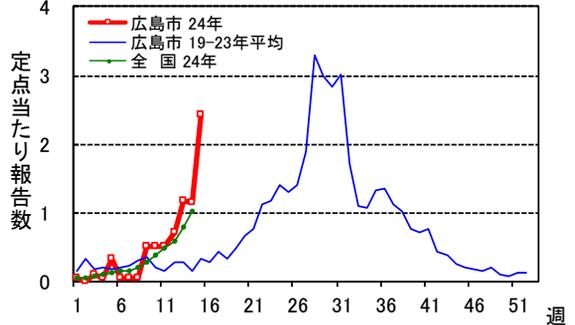
3 手足口病

定点当たり0.90人の報告があり、前週と比べて大きく増加しました。例年夏季に増える傾向があり、乳幼児が集団で生活する保育園や幼稚園などでは、注意が必要です。手洗いの励行、オムツの適切な処理、タオルの共用を避けるなど、感染予防対策を心がけましょう。

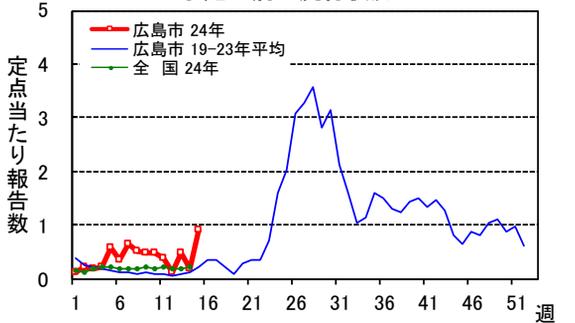
4 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり1.68人の報告があり、前週と比べて減少しました。引き続き、基本的な感染予防対策に取り組みましょう。

RSウイルス感染症の流行状況



手足口病の流行状況



定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
インフル	インフルエンザ	45	1.32	1.42	↓	小児科	ヘルパンギーナ	1	0.05	0.06	
	新型コロナウイルス(COVID-19)	57	1.68		↔		流行性耳下腺炎	1	0.05	0.02	
小児科	RSウイルス感染症	51	2.43	0.32	↑	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	咽頭結膜熱	8	0.38	0.18			流行性角結膜炎	9	1.13	0.43	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	58	2.76	1.07	↔	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	88	4.19	5.13	↔		無菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	水痘	4	0.19	0.15			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.08	
	手足口病	19	0.90	0.23	↑		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.08			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.11	
	突発性発しん	7	0.33	0.23							

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	↔		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	34
小児科定点数	21
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
4	A型肝炎	1	2	50歳代・市外・推定感染地域: 国外
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	8	40歳代
5	ジアルジア症	1	2	40歳代
5	梅毒	1	39	20歳代

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	週	インフルエンザ	(COVID-19)	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎		
			報告数	報告数	報告数	報告数	報告数	報告数	報告数	報告数	報告数	報告数	報告数	報告数	報告数	報告数	報告数	報告数	報告数	報告数	報告数	報告数	報告数	報告数	
報告数	広島市	第11週	602	106	12	16	68	198	-	9	-	6	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	1	-	
		第12週	420	83	16	9	74	113	3	3	-	7	1	-	-	6	-	-	-	1	-	-	-	-	
		第13週	333	67	27	20	83	136	2	11	-	9	1	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		第14週	135	88	25	12	68	102	3	4	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		第15週	45	57	51	8	58	88	4	19	-	7	1	-	-	1	-	9	-	-	-	-	-	-	-
定点当たり	広島市	第11週	16.72	2.94	0.52	0.70	2.96	8.61	-	0.39	-	0.26	-	0.04	-	0.38	-	-	-	-	-	-	0.14	-	-
		第12週	11.67	2.31	0.70	0.39	3.22	4.91	0.13	0.13	-	0.30	0.04	-	-	0.75	-	-	-	0.14	-	-	-	-	-
		第13週	9.25	1.86	1.17	0.87	3.61	5.91	0.09	0.48	-	0.39	0.04	-	-	0.63	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		第14週	3.86	2.51	1.14	0.55	3.09	4.64	0.14	0.18	-	0.14	0.05	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		第15週	1.32	1.68	2.43	0.38	2.76	4.19	0.19	0.90	-	0.33	0.05	0.05	-	1.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全国	第13週	11.18	5.10	0.80	0.63	3.57	4.11	0.13	0.19	0.03	0.22	0.02	0.03	0.01	0.51	0.02	0.01	0.09	-	0.01	-	0.01	-	0.01	
	第14週	5.10	4.26	1.01	0.57	3.06	3.64	0.12	0.21	0.02	0.23	0.03	0.04	0.01	0.53	0.02	0.02	0.09	-	0.01	-	0.01	-	0.01	

■ STD(性感染症)・基幹定点報告状況(月報対象)の推移

報告数	広島市	月	STD(性感染症)定点												基幹定点										
			性器クラミジア感染症			性器ヘルペスウイルス感染症			尖圭コンジローマ			淋菌感染症			メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症			ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			薬剤耐性緑膿菌感染症				
			総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女		
報告数	広島市	2月	31	26	5	9	6	3	8	7	1	10	10	0	11	9	2	0	0	0	0	0	0	0	0
		3月	34	25	9	9	7	2	4	4	0	7	7	0	19	10	9	0	0	0	0	0	0	0	0
定点当たり	広島市	2月	3.88	3.25	0.63	1.13	0.75	0.38	1.00	0.88	0.13	1.25	1.25	0.00	1.57	1.29	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		3月	4.25	3.13	1.13	1.13	0.88	0.25	0.50	0.50	0.00	0.88	0.88	0.00	2.71	1.43	1.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
全国	3月	2.52	1.27	1.25	0.82	0.30	0.52	0.51	0.34	0.17	0.75	0.54	0.22	2.82	1.74	1.08	0.13	0.06	0.06	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	

定点数 STD定点 8 基幹定点 7

【参考】無料・匿名の梅毒検査について

梅毒は、主に性的接触により、口や性器などの粘膜や皮膚から感染します。治療をしないまま放置すると、心臓や血管、脳などの臓器に病変が生じ、時には死に至ることもあります。

また、妊娠している人が感染すると、死産や早産になったり、生まれてくるこどもが先天梅毒になることがあります。近年、梅毒の報告数の増加に伴い、妊婦梅毒や先天梅毒の年間報告数も増加しています。広島市でも2022年に2件、2023年に1件の先天梅毒の報告がありました。

梅毒は早期の適切な治療により完治が可能です。広島市の保健センターでは、梅毒検査を無料・匿名で行っています。検査は予約制です。あらかじめ、検査を希望される保健センターに電話で予約してください。原則としてHIV(エイズ)検査と同時受検となります。連絡先等は、ホームページをご参照ください。

保健センターの無料・匿名の梅毒検査

広島市の各区保健センターでは、無料・匿名のHIV検査と併せて梅毒検査を実施しています。詳しくはホームページをご覧ください。

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/72/2986.html>



先天梅毒とは

梅毒にかかった母親から、胎児に感染することで起こります。出生時は無症状のこともありますが、生後数か月以内に発疹や骨の異常が出ることもあります。また、数年後に目の炎症や難聴などの症状が出ることもあります。

妊娠の早い段階で感染がわかれば、早期の治療により胎児への感染リスクを下げることができます。

詳しくはこちらをご覧ください↓

梅毒(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/seikansenshou/syphilis.html

リーフレット「梅毒の感染が広がっています」(イラスト)(厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001241899.pdf>



本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease/>



【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号

TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp